

「DOI」について

立命館学術成果リポジトリ (R-Cube) に登録されているコンテンツ (「紀要論文」「博士論文」のうち、本文データがあるもの) に対して「DOI (デジタルオブジェクト識別子)」を付与しました。

今後新規に登録される「紀要論文」「博士論文」で本文データがあるコンテンツには、「DOI」を付与していきます。

■DOIとは

DOIとは、Digital Object Identifierの頭文字で、コンテンツの電子データに付与される国際的な識別子です。「[http://doi.org/\[DOI\]](http://doi.org/[DOI])」というURLが付与されます。これは、不変的な識別子として付与されるため、サーバ移転等に伴うリンク切れが生じません。

立命館学術成果リポジトリで付与するDOIの形式は、「10.34382/[本学図書館で付与する数字]」となります。

■DOIのメリット

- リポジトリに登録された研究成果に対して不変的な識別子が付与されるため、後世へ研究成果を残すことができます (サーバ移転等に伴うリンク切れが生じません)。
- 研究成果の可視化により、論文の被引用率の向上が見込まれます。
- CiNii Articles や Google などで検索されるようになるため、全世界に対して研究成果を効果的に発信することができます。

■DOIに関する注意事項

- DOIが付与されたコンテンツは、原則として非公開や削除を行えません (一度削除されたDOIは欠番扱いとなり再利用することはできません)。
- DOI付与対象外のコンテンツには、DOIを付与しません。
- DOIの登録機関はジャパンリンクセンター (JaLC) です。CrossRef (国際DOI財団のデジタルオブジェクト識別子公式登録機関) が提供するサービス (CrossCheck, CrossMark など) の利用はできません。